

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものによさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康ではつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、傳統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

奈良市民だより

No. 275

市民のうごき
(昭和48年6月15日現在)

(前月比増)

人口	235,071人	(906)
男	114,110	(388)
女	120,961	(518)
世帯数	72,309	(136)

とうさんさいのうま 唐三彩の馬



唐三彩馬

張雨の書

六月五日の昼のこと。三等温泉の天平の広間に、中国国際旅行社訪日友好参観団の張雨(チャンロイ)団長、魯曼(ルウマン)副団長(西安市)ほか日中交えて三十数名の市長主催の日本式昼食会の席上のことであった。

私が熱烈歓迎のあいさつを済ませ、奥田知事の音頭での友好の乾杯、そして張雨団長のあいさつへと進んだとき、原稿にない「こんな中日友好の熱烈あいさつを受けたことは始めてだ。感激しました」と始まり、興奮きみに、最後に「私は西安出土の唐三彩の馬を奈良市に贈り度い」と結ばれた。そして「今は持ってきてない。ホテルのトランクの中にある。あとで届ける」といわれる。

私は、大変なことになったぞ、と唐三彩の馬というが、ほんまものか、似せての作りのものかと思ひ、隣の魯曼副団長に、失礼だったが「唐三彩」といふと、大変貴重なものだが、どうして贈ってくれるのか」と、愚問を發した。彼いわく「西安と奈良とは千年の友好を結びたい。だから、その友好の印に千年前の唐三彩の馬を贈るのだ」という。まだどうも信ぜられない。何故なら、今まで奈良市は何度も西安市に姉妹都市関係を結ぼうと、国交正常化のそのずつと以前より話を進めているのに、反応は少ない。一度、昨年十一月間総理の「奈良と西安は姉妹都市としてふさわしい」との言明があったが、その後は返事はなく、魯承志先生が来られたときも、京都市とは友好都市になろう、といわれたというが、奈良市の場合には「帰国して、西安とよく話して、締結できるようにいたします」とのこと。それが突然、西安より掘り出した唐三彩馬を千年の友好の印に贈るといわれても、実感がわかないのだ。

次の朝はホテルまで送りに行き「北京で再見、今度は西安で会いましょう」と、固い友好の握手で別れた。そして、前夜届いている三彩馬を東洋考古学の中村春寿先生と、まだ土のついてるそれをみて、これは大変なものだ、ほんまもんだ。日本にこんな馬は東京博物館のそれと二つよりない。日本では奈良の大安寺と沖の島とより発掘された。かけらがあるだけだ。和唐三彩は少しあるが、唐三彩はほとんどないのだ、と。二人とも興奮してしまったものである。そして、私は大抵感応の遅い男だが、だんだんと実感がわいてきた。これはえらいことになったぞ、と。西安に招待するということ。また、国宝級の三彩馬を持ってきてくれるし、奈良も千二百年ぶりにえらいことになったぞ、と。しかし、ちょっと静かになって考えると、もたらたら相応のものを選ばねばならない。さて何をと頭を痛めた。そして結論、昔朝日新聞のつくった正倉院の図鑑五冊にしよう。

世界で唐時代の文物を一番多く収蔵しているのは、シルクロード東の終点奈良正倉院である。西安(当時長安)から奈良の都にやってきた多数の文物が一、二〇〇年正倉院にあり、今や西安のまちは少ない。それを写真の図鑑で返そうと、これで少し気楽になった。そして、この唐三彩馬を、取りあえず市金庫に収納することとして木山収入役を取職責任者とし、あと博物館にあずけ、市民各位に見てもらい、市庁舎ができれば、展覧室をつくって、他の姉妹都市との交換の品も一緒に観てもらうことしよう、と考えている。

友好の奈良見物

中国出土文物展代表団

来日中の中国出土文物展代表団(団長・王治秋中国文物事業管理局長)の一行十二人が六月十八日奈良を訪れ三日



薬師寺で仏足石を見る王団長 (右から3人目、左端は鎌田市長)

同和問題(みんなのもの)

市民みんなで取組もう

自由と平等実現へ
多彩な催し
差別をなくす週間

七月四日から十日までは「差別をなくす週間」。県をはじめ県下の市町村が足なみをそろえ、いろいろな行事を実施して同和問題解決のための運動を展開します。

同和問題は人類普遍の原動力である「自由と平等」に関する問題であり、わが国憲法によつて保障された基本的人権にかかわる課題です。そしてその早急な解決は、国をはじめ地方公共団体の責務であり同時に国民的課題でもありま

同和問題は、奈良市でも同和対策室を中心に各種の行事を予定しております。この週間によつて実施される行事のおもなものはつぎのとおりで、みなさんが進んで参加していただくことをおねがひします。

◎人権相談 六日市庁舎別館サロンド、十日若草市民館と古市隣保館で、いずれも午前九時～午後四時。

◎市民館・隣保館行事 九日に若草市民館(午後二時～

◎差別をなくす市民集会 十日午前九時三十分～午後三時三十分、県文化会館で女性史研究家もろさわようこの氏の記念講演「差別と偏見」ほか実践発表、映画など。

◎テレビ対談 八日午後七時三十分～八時、UTN奈良テレビ「テレビ県民室」で部落解放同盟県連合会書記長川口正志氏を囲んで同和問題を取りあげて対談。

◎同和問題研修会 四日午前九時三十分～午後四時、県立藤原高校で教育関係者を対象に、講演や演劇など。

◎差別をなくす市民集会 七月十六日午後一時～四時、市庁舎別館で、西口敏夫県同和教育研究会会長の記念講演「同和問題をみんなのもの」と映画「偏見」。

この事業は第一期工事として昨年十二月に鉄筋コンクリ

◎差別をなくす市民集会 十日午前九時三十分～午後三時三十分、県文化会館で女性史研究家もろさわようこの氏の記念講演「差別と偏見」ほか実践発表、映画など。

◎テレビ対談 八日午後七時三十分～八時、UTN奈良テレビ「テレビ県民室」で部落解放同盟県連合会書記長川口正志氏を囲んで同和問題を取りあげて対談。

◎同和問題研修会 四日午前九時三十分～午後四時、県立藤原高校で教育関係者を対象に、講演や演劇など。

◎差別をなくす市民集会 七月十六日午後一時～四時、市庁舎別館で、西口敏夫県同和教育研究会会長の記念講演「同和問題をみんなのもの」と映画「偏見」。

この事業は第一期工事として昨年十二月に鉄筋コンクリ

◎差別をなくす市民集会 十日午前九時三十分～午後三時三十分、県文化会館で女性史研究家もろさわようこの氏の記念講演「差別と偏見」ほか実践発表、映画など。

◎テレビ対談 八日午後七時三十分～八時、UTN奈良テレビ「テレビ県民室」で部落解放同盟県連合会書記長川口正志氏を囲んで同和問題を取りあげて対談。

◎同和問題研修会 四日午前九時三十分～午後四時、県立藤原高校で教育関係者を対象に、講演や演劇など。

◎差別をなくす市民集会 七月十六日午後一時～四時、市庁舎別館で、西口敏夫県同和教育研究会会長の記念講演「同和問題をみんなのもの」と映画「偏見」。

この事業は第一期工事として昨年十二月に鉄筋コンクリ

間滞在、東大寺をはじめ市内の中国とゆかりの深い古文化財を見学しました。

十八日午前十時三十分京都から奈良入りした一行は、市内学園南町の大和文華館に着、開催中の中国陶磁展を見学しました。先史時代から清時代までの約八十五点の陳列品を一つ一つ熱心に鑑賞。午後は鎌田市長の案内で東大寺・唐招提寺・薬師寺を見学

し、唐招提寺では鑑真和尚像を見、千二百年前の日中兩國の交流をあらためて想い起こしていかにも感慨深げでした。

翌十九日は平城宮跡・奈良国立博物館などを訪ね多くの遺跡・遺品を見学しました。一行は古美術の専門家が多いだけに、案内の技官と文化財の保存技術についての意見を交換し、熱心にメモをとって

席上鎌田市長があいさつで「今回開催されている中国出土文物展は、日中兩國の永劫にわたる友好関係の発展にふさわしい意義あるものである」と出土文物展の意義をたたえたあと「奈良市と西安市とは、千二百六十年の友好の歴史があり、今後千年の日中友好の強いきずなとするためにも、両市の友好都市提携の実現をはからねばならない」

と強調すれば、代表団からさかんな拍手がわきました。王団長は開口一番「奈良は私が日本で一番好きなおところ」と述べて拍手を浴び「千二百六十年前、鑑真和尚は日本に来るのに大変な苦勞をした。いまは航空協定が結ばれると二時間で北京までこられる。こんなに近いのだから、これからは兩國の文化・経済などの友好交流を一層さ

かんになさなければならぬ」と文化交流の必要性を強調しました。



7月(July)行事予定

【月間】第23回社会を明るくする運動、愛の血液助け合い運動、河川愛護運動、夏期食品いっせい取締り月間、夏火災防止月間、夏の防犯運動(～8月31日)

- 1日(日) 国民安全の日、第46回全国安全週間(～7日) 更生保護の日、住民登録届出励行週間(～7日)
- 3日(火)
 - ・みそづくり講習会(～6日、高門公民館)
 - ・鼓阪地区市政懇談会(鼓阪小学校)
- 4日(水) 差別をなくす週間(～10日)
 - ・みそづくり講習会(～6日、富雄公民館)
 - ・五条山市営住宅入居申込み締切り
- 5日(木)
 - ・警防対策訓練(三条添川町地内)
 - ・水難救助訓練(あやめ池遊園地)
- 6日(金)
 - ・精華・平城両地区住民実態調査(～9日)
 - ・柳生小学校体育館完成式
- 7日(土) たなばた、星まつり、小暑
- 8日(日)
 - ・花の市(行基噴水広場・西部公民館横)
- 9日(月)
 - ・身体障害者慰問(～13日)
 - ・蚊・ハエ撲滅薬剤散布(～27日)
- 10日(火)
 - ・みそづくり講習会(～13日、高門公民館)
 - ・飛鳥地区市政懇談会(飛鳥小学校)
 - ・警防対策訓練(二名町地内)
 - ・文化財パトロール
 - ・差別をなくす県民集会(県文化会館)
- 15日(日) うらぼん、家庭の日
 - ・日中交歓バレーボール奈良大会(中央体育館)
- 16日(月) やぶ入り
- 17日(火)
 - ・みそづくり講習会(～20日、西部公民館)
 - ・橋井地区市政懇談会(橋井小学校)
 - ・警防対策訓練(富雄元町3丁目地内)
- 20日(金) 土用入り、海の記念日
- 21日(土) 学校夏休み(～8月31日) 自然に親しむ運動(～8月20日) 勤労青少年の日
- 24日(火)
 - ・みそづくり講習会(～27日と31日、西部公民館)
 - ・狭川地区市政懇談会(田狭川出養所)
 - ・文化財パトロール
- 27日(金)
 - ・東里地区市政懇談会(相和小学校)
- 28日(土) 土用うし
- 31日(火)
 - ・大柳生地区市政懇談会(大柳生小学校)

奈良と文化 交流を強調

王団長あいさつ

十八日午後六時から奈良ホテルで鎌田市長招待の歓迎レセプションが催され、関係者百人が出席しました。

席上鎌田市長があいさつで「今回開催されている中国出土文物展は、日中兩國の永劫にわたる友好関係の発展にふさわしい意義あるものである」と出土文物展の意義をたたえたあと「奈良市と西安市とは、千二百六十年の友好の歴史があり、今後千年の日中友好の強いきずなとするためにも、両市の友好都市提携の実現をはからねばならない」

と強調すれば、代表団からさかんな拍手がわきました。王団長は開口一番「奈良は私が日本で一番好きなおところ」と述べて拍手を浴び「千二百六十年前、鑑真和尚は日本に来るのに大変な苦勞をした。いまは航空協定が結ばれると二時間で北京までこられる。こんなに近いのだから、これからは兩國の文化・経済などの友好交流を一層さ

かんになさなければならぬ」と文化交流の必要性を強調しました。

と文化交流の必要性を強調しました。

と文化交流の必要性を強調しました。

九階建完成

西之阪町住宅地区 改良第二期工事

奈良市が地区改良法に基づいて、四十五年度から五カ年計画ですすめている西之阪町住宅地区改良事業の第二期工事がこのほど完成し、その完工式が六月十三日午前十時三十分から現地で開催者七十人が出席して行なわれました。

こんど完成したのは、四十七年三月から工費三億七千八百万円、旧奈良親光バス跡に建設したもので、鉄筋コンクリート九階建、延べ面積五千九百五十五平方尺、住宅八十戸、店舗・作業場十戸となっています。

この事業は第一期工事として昨年十二月に鉄筋コンクリ

この事業は第一期工事として昨年十二月に鉄筋コンクリ

東之阪連勝

同対協の少年野球

奈良市同和对策推進協議会(荒木武男会長)では、六月三日の婦人バレーボール大会に引きつづいて、六月二十四日第四回少年野球大会を市営球場で開きました。参加したのは十チーム

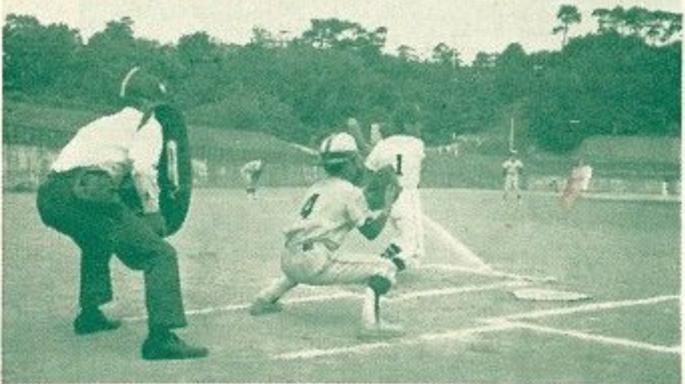
約百五十人。昨年優勝の東之阪チームから優勝旗返還のあと、荒木大会委員長の始球で試合開始、トーナメントで熱戦のすえ、昨年につづき東之阪チームが優勝、準優勝は香中Aチームでした。

約百五十人。昨年優勝の東之阪チームから優勝旗返還のあと、荒木大会委員長の始球で試合開始、トーナメントで熱戦のすえ、昨年につづき東之阪チームが優勝、準優勝は香中Aチームでした。

約百五十人。昨年優勝の東之阪チームから優勝旗返還のあと、荒木大会委員長の始球で試合開始、トーナメントで熱戦のすえ、昨年につづき東之阪チームが優勝、準優勝は香中Aチームでした。



【上】同対協の婦人バレーボール(記事は6月15日号参照)



【下】同じく少年野球大会

中バレーボール交歓試合

全日本女子対中国女子

とき七月十五日(日) 午後二時試合開始 ところ市中央体育館 入場料特別席千円、一般席七百円、中、高生三百円、小学生百円 発売所市中央体育館、国鉄・近鉄奈良駅構内市観光案内所

新自治会長

6月20日現在

- 【町内自治会長】百葉園一丁目 柴田正之 同二丁目 堀江常治 同三丁目 菅部重雄
- 【学園大和町一丁目】野中正志 大淵町 末坂隆 築地之内町 安立元路 肘塚新町 田中政一 大宮町 一丁目 第二 高橋松太郎 永井町 吉村千代蔵
- 【上高畑町】宮前安郎 東十輪院町 江南栄 片原町 小林時男 東之阪町 二丁目 山村末治 佐保川東町 電々公社 住宅 小岩敏雪 芝辻町 三丁目 西 蔵口宇一 五条山新町 二丁目 藤掛水良 五反田町 堂後喜昭

蚊・ハエ撲滅に

薬剤地上散布

食物・小動物にご注意

蚊・ハエを撲滅するため、市ではこの夏も動力噴霧機による薬剤の地上散布を下記の日程により七月に行ないます。各地区とも午前五時から開始、同八時ごろ終了予定です。実施日に当たる地区ではつぎの点に注意してください。

ステッカー



自治会通じ各戸へ配布

- ①発生源のゴミ箱・下水溝は薬剤がよくかかるようふたをとっておく。
- ②飲食物・食器類には薬剤がかからないよう整理し、井戸や水がめ・金魚池などにふたをする。
- ③ミツバチ・小鳥小屋などにおおいをする。
- ④薬剤がかかったと思われる野菜や家畜飼料はよく水洗いする。
- ⑤食料品販売、飲食、喫茶、染色洗張り・クリーニング、小鳥・養蜂・養鶏・養魚などの仕事に従事する人は薬剤がかからないよう十分に注意してください。

- 二十八日(土)以後に順次実施。
- 9日(月)平城ニュータウン・都跡(佐紀全域)
- 10日(火)都跡(佐紀町を除く)
- 11日(水)伏見(若葉台全域を除く)
- 12日(木)あやめ池(若葉台全域含む)
- 13日(金)平城(平城ニュータウンを除く)
- 14日(土)学園(近鉄奈良線以北)
- 16日(月)学園(近鉄奈良線以南)
- 17日(火)富雄(近鉄奈良線)

成果は好調

モデル地区218カ町に

蚊・ハエをなくす運動

蚊・ハエ撲滅実施モデル地区の活動報告と今後の事業計画説明会が、六月二十日市役所で開かれモデル各地区から五十人が出席しました。

半日勤務返上して

特別清掃実施

市従組清掃支部が奉仕

市清掃部では六月十三日午後、事務職員を含め総数百八十人と車両三十台をくり出して、市内の路上に放置されたゴミを一掃しました。

守りは鉄壁

密集地と高層ビルの

ダブル火災消防訓練

奈良市消防本部では、密集地での大火災と高層ビル火災がダブルで発生した場合、これに対処する体制を確立するため、六月十二日早朝



密集市街地での消火訓練

から市内二カ所で大がかりな消火・救出・救助の総合訓練を実施しました。まず午前六時に元林院町検番付近から出火、一九番へ

通報があったとの想定。消防本部はすぐに消防署員八十二人、地元消防団員百五十八人を非常召集。猿沢池畔の栄女神社前に指揮本部を置いて同本部長の鍵田市長が陣頭指揮をとりました。

消防本部では、ことし七月一日から三十一日までを夏火災防止月間として、火災の未然防止をよく市民に呼びかけ、この期間中つぎのような防火活動を実施します。

市消防本部では、ことし七月一日から三十一日までを夏火災防止月間として、火災の未然防止をよく市民に呼びかけ、この期間中つぎのような防火活動を実施します。

市消防本部では、ことし七月一日から三十一日までを夏火災防止月間として、火災の未然防止をよく市民に呼びかけ、この期間中つぎのような防火活動を実施します。

最初赤バイ五両が到着、すぐ人命救助活動を始めると続いて救急車、化学車、ハシゴ車、スノーケル車など消防車十四両がかけつけました。現場は道幅がせまく消防車も入りにくいほどだ。逃げおくれに煙にまかれた二人がタンカで救急車へ運ばれる。消火せ

このあと全員が原付前広場に集合。鍵田指揮本部長は「火災が発生したらまず人命救助を第一に心がけてほしい。しかしなによりも、火事を出さない予防消防に」とめよう」と激励、同七時三十分訓練は終了した。

このあと全員が原付前広場に集合。鍵田指揮本部長は「火災が発生したらまず人命救助を第一に心がけてほしい。しかしなによりも、火事を出さない予防消防に」とめよう」と激励、同七時三十分訓練は終了した。

このあと全員が原付前広場に集合。鍵田指揮本部長は「火災が発生したらまず人命救助を第一に心がけてほしい。しかしなによりも、火事を出さない予防消防に」とめよう」と激励、同七時三十分訓練は終了した。

このあと全員が原付前広場に集合。鍵田指揮本部長は「火災が発生したらまず人命救助を第一に心がけてほしい。しかしなによりも、火事を出さない予防消防に」とめよう」と激励、同七時三十分訓練は終了した。

夏火災の

予防月間

市消防本部では、ことし七月一日から三十一日までを夏火災防止月間として、火災の未然防止をよく市民に呼びかけ、この期間中つぎのような防火活動を実施します。

市消防本部では、ことし七月一日から三十一日までを夏火災防止月間として、火災の未然防止をよく市民に呼びかけ、この期間中つぎのような防火活動を実施します。

市消防本部では、ことし七月一日から三十一日までを夏火災防止月間として、火災の未然防止をよく市民に呼びかけ、この期間中つぎのような防火活動を実施します。

市消防本部では、ことし七月一日から三十一日までを夏火災防止月間として、火災の未然防止をよく市民に呼びかけ、この期間中つぎのような防火活動を実施します。

職員募集

市水道局

奈良市ではつぎのとおり水道局職員を募集します。

奈良市ではつぎのとおり水道局職員を募集します。

奈良市ではつぎのとおり水道局職員を募集します。

奈良市ではつぎのとおり水道局職員を募集します。

戸籍事務も

西部出張所

「市民だより」六月十五日号所載の新住居表示実施区域(七月一日から)のうち、中山町西一〜四丁目、従来西部出張所で住民票だけを取り扱っていましたが、この日から戸籍事務もあわせて同出張所で扱うことになりました。

「市民だより」六月十五日号所載の新住居表示実施区域(七月一日から)のうち、中山町西一〜四丁目、従来西部出張所で住民票だけを取り扱っていましたが、この日から戸籍事務もあわせて同出張所で扱うことになりました。

「市民だより」六月十五日号所載の新住居表示実施区域(七月一日から)のうち、中山町西一〜四丁目、従来西部出張所で住民票だけを取り扱っていましたが、この日から戸籍事務もあわせて同出張所で扱うことになりました。

「市民だより」六月十五日号所載の新住居表示実施区域(七月一日から)のうち、中山町西一〜四丁目、従来西部出張所で住民票だけを取り扱っていましたが、この日から戸籍事務もあわせて同出張所で扱うことになりました。

商業実態

基本調査

通産省の商業実態基本調査が七月一日現在で行なわれます。この調査は、中小商業施策の基礎資料を得るために通産省が六年ごとに行なっているもので、ことし三回目。

通産省の商業実態基本調査が七月一日現在で行なわれます。この調査は、中小商業施策の基礎資料を得るために通産省が六年ごとに行なっているもので、ことし三回目。

通産省の商業実態基本調査が七月一日現在で行なわれます。この調査は、中小商業施策の基礎資料を得るために通産省が六年ごとに行なっているもので、ことし三回目。

通産省の商業実態基本調査が七月一日現在で行なわれます。この調査は、中小商業施策の基礎資料を得るために通産省が六年ごとに行なっているもので、ことし三回目。

奈良市史

「書跡編」

奈良市史編集審議会編集の「奈良市史・書跡編」が近く発刊されます。全十五巻のうち第五巻目、執筆者は岸俊男

奈良市史編集審議会編集の「奈良市史・書跡編」が近く発刊されます。全十五巻のうち第五巻目、執筆者は岸俊男

奈良市史編集審議会編集の「奈良市史・書跡編」が近く発刊されます。全十五巻のうち第五巻目、執筆者は岸俊男

奈良市史編集審議会編集の「奈良市史・書跡編」が近く発刊されます。全十五巻のうち第五巻目、執筆者は岸俊男

勤労青少年の

つどい

七月の第三土曜日は「勤労青少年の日」。

七月の第三土曜日は「勤労青少年の日」。

七月の第三土曜日は「勤労青少年の日」。

七月の第三土曜日は「勤労青少年の日」。

毎月5日は

奈良市民の相談日

毎月5日は「奈良市民の相談日」。

毎月5日は「奈良市民の相談日」。

毎月5日は「奈良市民の相談日」。

毎月5日は「奈良市民の相談日」。

